

「ジャポニスム 2018 公式オープニングへの日本産酒類 プロモーションブースの出展事業」の様様

国税庁は、フランスのパリで開催された「ジャポニスム 2018 公式オープニング」において日本産酒類プロモーションブース出展事業を実施しました。

○ 日本産酒類プロモーションブースの概要

開催日時：平成 30 年 7 月 12 日（木） 18：00～21：00

実施場所：ラ・ヴィレット公園 ラ・グランダール（フランス・パリ）

実施主体：国税庁

参加者：350 名

（仏政府関係者・日本政府関係者・ジャポニスム日仏合同委員会メンバー等々）

○ 今回実施した「ジャポニスム 2018 公式オープニングへの日本産酒類プロモーションブースの出展事業」では、日本産酒類の海外における認知度の向上を図ることで日本産酒類の輸出促進につなげるため、日本産酒類プロモーションブースを設置し、招待客である各国政財界のリーダーやメディア関係者等の情報発信力の高い層に対し、日本産酒類の魅力を発信しました。

○ 日本産酒類プロモーションブースでは、日本産酒類について造詣の深いフランス人ソムリエを解説役として配置することで、仏政府関係者等に対し、日本産酒類の魅力を伝えました。



会場内の様子



ブースの試飲の様子（河野外務大臣も御来訪）

○ 多くの来場者がブースに設置した日本産酒類や出品酒の説明のフランス語版リーフレットを手にとっていました。

○ 国税庁では、今後も日本産酒類の輸出促進の一環として、本イベントのように世界的注目度が高く、海外の情報発信力の高い層が参加するイベント内へのブースの出展等、日本産酒類の魅力発信のための様々な取組を行っていく予定です。